

県民の安全・安心対策特別委員会記録

1 会議の日時

令和6年10月9日

開 会 午前 9時57分

閉 会 午前11時23分

2 会議の場所

第3委員会室

3 出席者

委
員

委員長 尾 藤 義 昭 副委員長 加 藤 大 博
委 員 川 上 哲 也 水 野 吉 近 伊 藤 英 生
中 川 裕 子 山 内 房 壽 安 井 忠
牧 田 秀 憲 今 井 瑠 々

執
行
部

別紙配席図のとおり

4 事務局職員

主 任 古 田 健 児
係 長 佐 藤 由 子

5 会議に付した案件		
件名		審 査 の 結 果
1 犯罪・交通事故防止対策の推進について 参考人 中日本高速道路株式会社 名古屋支社 保全・サービス事業部 企画統括課長 山邊 恵太 氏		
2 その他		

6 議 事 録（要点筆記）

○尾藤義昭委員長

ただいまから、県民の安全・安心対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、県民の安全・安心対策の推進に関して、今年度の調査項目としている「犯罪・交通事故防止対策の推進」について、協議するため開催したものである。

本日は、執行部からは、議案に係る所属に出席いただいております。また、現状等を報告いただくため参考人として、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 保全・サービス事業部から企画統括課長の山邊様にお越しいただいております。

山邊様におかれては、大変御多用のところお越しいただき感謝申し上げます。

それでは、早速、「交通事故抑止に関する取組」について御報告いただく。

ぜひ、活発な意見交換ができればと思うので、よろしくお願いします。

質疑については、報告終了後をお願いします。

（参考人挨拶・説明：中日本高速道路株式会社 名古屋支社 保全・サービス事業部

企画統括課長 山邊恵太氏）

○尾藤義昭委員長

報告に対する質疑はあるか。

○加藤大博副委員長

交通事故の低減への取組について、ワイヤーロープやセンターパイプなどの設置にどのくらいのコストがかかるのか。

○山邊参考人

材料のみであれば例えばガードレールが数万円程度であるが、そのほかに設置工事や道路を規制するための費用などがかかる。設置費用については、設置事業者を公募により選定しており、一律に単価が決まるものではない。

○加藤大博副委員長

場所によって交通事故対策の方法が様々である理由について説明いただきたい。

○山邊参考人

例えば、設置区間が地面の上を通過する土工部であれば、車線を広げて杭を打つなどしてワイヤーロープなどを設置できるが、設置区間がトンネルや橋梁であると、車線を広げられなかったり、橋梁構造物に影響があるなどの理由から、衝突に耐えられる設置方法を検討する必要がある。

○加藤大博副委員長

高速道路のように車の動きをコントロールしやすい道でも相当数の逆走事案が発生している。一般道においてはさらに逆走を防ぐことが困難と思われるが、高速道路における取組を通じ、一般道における逆走事案防止に対するノウハウはあるか。

○山邊参考人

逆走事案に対し最も効果があると思われるのは、例えば、高速道路合流地点におけるガードポールの設置のように、物理的に通行することができないようにすること。そのほか、路面表示や看板等による表示も有効であると考えます。

○加藤大博副委員長

若年層の逆走事案も発生しているが、その要因について説明いただきたい。

○山邊参考人

単純に道を間違えたということもあるが、逆走だと知りつつ悪意を持ってやっている者もいる。

○中川裕子委員

交通事故の低減への取組の中で、E T Cを活用した情報提供について、詳細を説明いただきたい。

○山邊参考人

E T C 2.0 を搭載した自動車に対し、渋滞情報や事故多発区間情報などを発信している。どのような情報が効果的か、どのような音声であれば伝わるかといったことも検討しながら情報発信を行っている。

○中川裕子委員

逆走事案の把握方法について説明いただきたい。

○山邊参考人

道路管制センターにおいて、本線上に設置したカメラで監視しているほか、料金所で発覚した際には料金所の職員が道路管制センターへ連絡している。このほか、高速道路利用者からの連絡、110番通報等により把握している。

○中川裕子委員

逆走事案発生後に事故に発展させないための取組について説明いただきたい。

○山邊参考人

事案を把握した場合、第一に情報板により利用者に対して情報を提供し、注意喚起している。事案把握時には詳細な場所が判明していない場合があるため、道路管制センターにおいてカメラを確認して発生場所を特定し、警察に連絡して逆走車を確保していただいている。

○中川裕子委員

豪雨や豪雪などの想定外の気候変動が生じた際の対応について説明いただきたい。

○山邊参考人

雨の場合、日常の維持管理を徹底することが大事だと考えている。また、先般発生した豪雪による立往生については、有識者を交え今後の対策を議論した。これまでは、気象協会等の気象予測に基づき通行止め規制等を行っていたが、今後は、実際の降雪実況等に基づいて通行止めの判断を行う必要があると認識した。現在、通行止め基準について関係機関と調整しているところである。

○川上哲也委員

逆走事案への取組における特別転回制度（目的地を通り過ぎた場合でも無料で引き返すことができる制度）について、利用者への情報発信はどのように行っているか。

○山邊参考人

サービスエリア内にパンフレット等を置いて周知を図っているほか、N E X C O が運営する X（旧ツイッター）において情報発信している。

○川上哲也委員

逆走事案の検知について、設置されているカメラ映像を基に、A I を用いて検知することは可能か。

○山邊参考人

実証実験を行ったが、カメラ映像内の遠方に位置する車両が逆走しているのか停車しているのか判別がつかず、A I 技術を用いて逆走事案を 1 0 0 % 検知することは困難である。

○今井瑠々委員

S N S による逆走事案の情報発信について、危険性のイメージが湧きやすく注意喚起を促しやすいた

め、今後も情報発信を継続していただきたい。また、交通事故の低減に向けた取組について、昼夜や閑散期・混雑期など、時間帯や時期によって高速道路の状況は異なると考えるが、それぞれの事故対策をご説明いただきたい。

○山邊参考人

交通事故は、時間帯や時期のほか様々な要因により発生している。一概に、時間帯ごとの対策を行うのではなく、こうした要因を分析し、箇所ごとに要因に応じた対策を講じている。

○今井瑠々委員

道路の維持管理について、人員不足も懸念となると考えるが、現状と課題について説明いただきたい。

○山邊参考人

人員不足は大きな課題と認識している。ＡＩなどのＩＴ技術を取り入れることにより業務の効率化を図り、生産性を上げていくことが必要と考えている。

○山内房壽委員

逆走事案への取組について、自動車や周辺機器の性能が向上してきているため、例えば逆走状況を検知してナビゲーション画面に表示するなどの技術進歩はあるか。

○山邊参考人

現在まさに、メーカーにも対応を求めているところである。

○山内房壽委員

自動運転に関して、高速道路に光通信ケーブルを埋め込んで自動運転に対応するという構想を聞いたことがあるが、現状について説明いただきたい。

○山邊参考人

現状、高速道路には光通信ケーブルが埋め込まれているため、既存のものを活用することが可能であると考えている。

○水野吉近委員

以前から一宮ＪＣＴにおいて渋滞が問題となっているが、現状の取組を説明いただきたい。

○山邊参考人

東海北陸自動車道から名神高速道路（名古屋方面）へ合流する上り線について、３車線運用を開始したことにより渋滞状況が一部緩和できているため、下り線についても運用開始に向け取り組んでいく。また、ＪＣＴ周辺の道路計画に応じて道路状況は変化していくため、その都度必要な対策を講じていく。

○尾藤義昭委員長

逆走事案について、先般、小学校の修学旅行中のバスが下りるＩＣを間違え、高速道路をバックで逆走したという事案があったが、即座に逆走車を停止させることはできないか。

○山邊参考人

逆走事案を認知したとしても、遠隔操作等によって逆走車を停止させるということは、現状ではできない。

○尾藤義昭委員長

高速道路上に落下物があつた場合、道路緊急ダイヤル＃９９１０に連絡すると、自動音声での質問に多くの情報をボタン操作で入力しなければならないため、運転中に連絡することが困難である。何か改善できることはないか。

○山邊参考人

今後の参考とさせていただく。

○尾藤義昭委員長

一般道の渋滞対策として、同一区間を走る高速道路料金を割引することにより交通量を分散させる取組について説明いただきたい。

○山邊参考人

指摘の件はロードプライシングと言われる取組であり、NE X C O 中日本の管轄する区間ではないが、現在試行運用されている区間がある。今後は当社の管轄する道路でも検討していかなければならないと認識している。

○丹藤健康福祉部長

逆走事案への取組について、運転者が認知症であった場合の対応について説明いただきたい。

○山邊参考人

確保した後は警察の対応となるため、当社での対応は行っていない。

○川瀬交通企画課長

NE X C O 中日本において逆走事案を認知した際は速やかに連絡をいただき、高速道路交通警察隊が対応にあたっている。その際に、運転者に継続的な運転に支障が生じる恐れがあると判断された場合などは、運転免許課に引き継ぎ、臨時適性検査を行うなど、警察行政で対応している。

○尾藤義昭委員長

質問等も尽きたようなので、報告については終了する。

山邊様、貴重なご報告をいただいたことに感謝申し上げます。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はないか。

(発言する者なし)

○尾藤義昭委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

県民の安全・安心対策特別委員会配席図

令和6年10月9日(水)

午前10時から

議会棟4階 第3委員会室

